

単元構成の手順

～授業の質的改善を目指して～

新学習指導要領では、三つの資質・能力の育成に向けて、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図ることが示されています。また、1単位時間の授業だけではなく、単元全体で「主体的・対話的で深い学び」の実現に迫ることが重要視されています。

そこで、「単元構成の手順」を紹介します。この手順に沿って単元を構成し、単元全体を通して、子供たちのコミュニケーションを図る力の育成を目指していきましょう。

Q: どのような手順で単元を構成すればよいのでしょうか？



A: 単元を通して身に付けさせたい力*1を明確にし、バックワードデザイン(逆向き設計)で学びの系統性を保ちながら単元を構成します。以下の手順を参考にしてみましょう。



Procedure 1

単元を通して生徒に身に付けさせたい力を考える。

Procedure 2

単元ゴールの Output 活動を設定する。

Procedure 3

単元ゴールの Output 活動のルーブリック(評価基準)を作る。

Procedure 4

単元で行う学習活動を考える。

Procedure 5

学習活動を配列する。

Procedure をクリックして詳しく見てみましょう！



単元を通して身に付けさせたい力*1…佐賀県中学校教育研究会英語部会は、「質問・応答する力」「説明する力」「要約する力」「コメントする力」の4つの要素を挙げている。